

日川協通信 (125)

令和2年9月20日



一般社団法人全日本川柳協会

〒530・041 大阪市北区天神橋 丁目

北一一一九〇五

電話 (06) 63552122

FAX (06) 63552122

振替口座 00970193575

<http://www.nissenkyou.or.jp>

ご挨拶

理事長 小島 蘭 幸

7月の集中豪雨は、日本の各地に大きな被害をもたらしました。被害に遭われました皆様には一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて6月14日に開催の予定でした第44回全日本川柳2020年秋田大会は、新型コロナウイルスの影響で10月11日に延期しておりますが、感染拡大で協議を重ねた結果、誌上大会に再変更することとなりました。大会開催に向けて万全の準備をして下さいました秋田大会実行委員会の皆様にご心からお礼申し上げます。

また11月8日に開催の予定でした第35回国民文化祭・みやぎ2020は、令和3年7月11日に変更されました。

事前投句応募締切は令和3年3月31日ですのでご応募よろしくお願い致します。

新型コロナウイルス感染拡大から6ヶ月、全国各地で開催されていた川柳大会は、全て中止、延期、誌上大会に変更になり、句会もまだ開催出来ないところも多いようです。

「句会に行きたい」「柳友に会いたい」と日々悶々とされている方も多いと聞いていますがここはぐっと我慢して頂きたいと思います。人間を詠む川柳は、ひとりでも楽しめる文芸です。この機会にあちこちに応募をしてみてもいかがでしょうか。

新型コロナウイルスのワクチン、特效薬が開発されてコロナが収束したら、また皆様とお会い出来ると思います。夏の疲れはこの時分に出やすいとのこと、ご自愛ください。

第二十二回 全日本川柳誌上大会

(令和柳多留) 入 選 作 品

(参加者 1,358 名)

令和柳多留賞

新しい住所仮設を出た知らせ

神奈川 秋山 了三

川柳大賞

やつと会えたねと命を抱き上げる

福岡 もりともみち

NHK会長賞

わたくしが冷めないうちに召しあがれ

山口 富田 房成

日本青少年育成協会会長賞

ヘルパーに青春語る元兵士

新潟 成田都揮洋

全日本川柳協会賞

満足のエンドロールに「完」がない

愛知 竹内 浩

全日本川柳誌上大会賞

一番の幸せ君が此処にいる

白いのをふあつと着せてやりました

咲ききつた誇り凜々しい落ち椿

大輪を咲かせ名乗りはしない土

小さな輪でいい始めはふたりから

埼玉 木崎 栄昇

滋賀 小梶 忠雄

福島 安藤 敏彦

カナダ 福村まこと

兵庫 糺谷 和郎

第一次選者

「新しい」

川崎 信彰

「満足」

江崎 紫峰

「三宅保州」

輪 保州

「重ねる」

水野 壱郎

「ヘルパー」

土田 欣之

第二次選者 (50音順)

酒井 青二

久崎 田甫

岩田 明美

西出 楓楽

江畑 哲男

小島 蘭幸

重徳 光州

竹田 光柳

長谷川 醉月

令和2年度(6月26日)

東西合同常任幹事会
通 常 総 会

場 所 大阪市立総合生涯学習センター

定足数の確認のあと議事録署名者選出

議 案

議案第1号 令和元年度事業報告承認の件

議案第2号 令和元年度

報告第1号 収支決算報告承認の件

報告第2号 令和元年度監査報告の件

その他 全国大会表彰の件

その他

第1号議案から第2号議案、その他まで慎重審議の結果、議長の報告通り可決成立。最後に議長から謝辞を述べ午後3時に閉会した。

大会連続出席者

連続10回参加

石澤はる子・北山まみどり・藤 咲子
相田 柳峰・坂下 清・篠島 隆
楠根はるえ

ハマスコミ柳壇の指導を10年以上行った者

伊東 マコ・石田 一郎・坂下 清
西出 楓葉・森中恵美子・長島 敏子
平田 朝子

第16回80歳以上の功労者顕彰

木田比呂朗・花道 歌子・内田 博柳
西出 楓葉・古谷龍太郎

第13回川柳文学賞

正賞「音のない時間」 仁多見十絵
準賞「平方根」 平井 義雄

第14回 川柳文学賞募集

日川協では川柳の普及向上を目的として、毎年1年間に出版された川柳個人句集のうち、もっとも優れた川柳句集に対して「川柳文学賞」を授与しています。

2020年1月から12月末日までに刊行した句集6冊及び同句集の概要説明書を2021年1月末日までに当協会の「川柳文学賞」選考委員会宛にお送りください。
沢山の応募お待ちしております。

(元理事・常任幹事)

2020年1月以後(敬称略)
謹んでお悔み申し上げます。

逝去日	役職	お名前	年齢
1/19	元理事	猿田 寒坊	81
3/17	元常任幹事	廣島 英一	92
5/21	常任幹事	館岡 稲風	79
7/25	元常任幹事	奈倉 楽甫	94

今後の全国大会予定

▼富山 2022年6月12日(日)
富山国際会議場

※2021年は全国大会を行いません。
今後の国民文化祭予定

▼宮崎 2021年7月11日(日)
宮崎市民プラザ
オルブライトホール

▼和歌山 2021年11月14日(日)
有田市民会館

正味財産増減計算書

平成元年4月1日から平成2年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,095	1,583	512	
受取入会金	15,000	18,000	△ 3,000	
柳社入会金	12,000	9,000	3,000	
個人入会金	3,000	9,000	△ 6,000	
受取会費	5,331,000	5,253,000	78,000	
理事会費	432,000	480,000	△ 48,000	
理事會費	2,856,000	2,904,000	△ 48,000	
正会員会費(団体)	1,966,000	1,778,000	188,000	
正会員会費(個人)	77,000	91,000	△ 14,000	
普及向上事業収益	12,767,742	13,082,759	△ 315,017	
誌上大会	2,693,163	2,692,000	1,163	
電子出版	150,000	0	150,000	
全国大会(事前)	1,706,000	1,833,667	△ 127,667	
全国大会(当日)	5,887,013	6,050,664	△ 163,651	
表彰後援事業	108,600	153,000	△ 44,400	
選考協力事業	2,222,966	2,353,428	△ 130,462	
受取補助金等	3,606,233	3,771,028	△ 164,795	
受取寄付金	0	194,102	△ 194,102	
雑収益	0	272	△ 272	
経常収益計	21,722,070	22,320,744	△ 598,674	
(2) 経常費用				
事業費	20,365,864	20,945,388	△ 579,524	
給料手当	2,701,287	3,039,240	△ 337,953	
臨時雇賃金	706,880	797,880	△ 91,000	
退職給付費用	142,500	142,500	0	
旅費交通費	1,841,540	1,750,476	91,064	
通信運搬費	1,933,325	1,792,485	140,840	
支払手数料	4,304	5,862	△ 1,558	
消耗品費	167,204	217,718	△ 50,514	
印刷製本費	2,837,862	2,620,188	217,674	
光熱水料費	92,117	96,784	△ 4,667	
賃借料	1,196,270	1,185,153	11,117	
保険料	27,300	40,100	△ 12,800	
諸謝金	2,269,250	2,558,404	△ 289,154	
表彰後援費	539,012	633,934	△ 94,922	
広告宣伝費	20,000	0	20,000	
実行委員会運営費	5,887,013	6,050,664	△ 163,651	
雑費	0	14,000	△ 14,000	
管理費	1,808,612	1,880,597	△ 71,985	
給料手当	142,173	159,960	△ 17,787	
退職給与費用	7,500	7,500	0	
福利厚生費	88,566	66,610	21,956	
会議費	204,407	208,425	△ 4,018	
旅費交通費	216,440	208,440	8,000	
通信運搬費	101,754	94,341	7,413	
支払手数料	495	1,017	△ 522	
消耗品費	8,800	11,459	△ 2,659	
印刷製本費	151,010	0	151,010	
光熱水料費	4,848	5,094	△ 246	
賃借料	62,962	62,376	586	
保険料	9,800	9,800	0	
法定福利費	462,001	525,335	△ 63,334	
租税公課	78,000	70,000	8,000	
接待交際費	9,940	7,840	2,100	
支払寄付金	0	194,102	△ 194,102	
雑費	259,916	248,298	11,618	
経常費用計	22,174,476	22,825,985	△ 651,509	
当期経常増減額	△ 452,406	△ 505,241	52,835	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
退職給付取崩益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
(該当なし)	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期正味財産増減額	△ 452,406	△ 505,241	52,835	
一般正味財産期首残高	4,562,624	5,067,865	△ 505,241	
一般正味財産期末残高	4,110,218	4,562,624	△ 452,406	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	21,000,000	21,000,000	0	
指定正味財産期末残高	21,000,000	21,000,000	0	
III 正味財産期末残高	25,110,218	25,562,624	△ 452,406	


監 査 報 告 書

一般社団法人全日本川柳協会
理 事 長 小 島 和 幸 殿


令和 2 年 4 月 24 日

一般社団法人 全日本川柳協会

監 事

高瀬 頼一 様 

監 事

矢澤 和女 様 

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

全日本川柳誌上大会のご案内

(令和柳多留第2集通巻23号)

日本の全柳人が、だれでも、どこからでも参加できる「全日本川柳誌上大会」(令和柳多留第2集通巻23号)を開催します。日川協年次大会・国民文化祭文芸大会と並ぶ(一社)全日本川柳協会の権威ある三大年間行事です。ので、こぞってご参加ください。

一般社団法人 全日本川柳協会
理事長 小島 蘭 幸
出版委員長 西 出 楓 楽

課題と共選者 (各題2句・連記)

「刻む」大竹 洋 (千葉)	——	松代 天鬼 (愛知) 共選
「めでたい」小林信二郎 (山梨)	——	くんじろう (大阪) 共選
「褒美」福井 勲 (東京)	——	長島 敏子 (兵庫) 共選
「ラッキー」藤 咲子 (秋田)	——	徳丸 浩二 (熊本) 共選
「密」石川 川柳 (埼玉)	——	鈴木 公弘 (鳥取) 共選

第2次選者

天根 夢草 (大阪)、雫石 隆子 (宮城)、島田 駱舟 (千葉)
駒木 香苑 (福島)、平井 義雄 (長崎)

参加費 2,000円 (投句料・『令和柳多留第2集通巻23号』代金含む)

賞 令和柳多留賞・川柳大賞・NHK会長賞
日本青少年育成協会会長賞・全日本川柳協会賞
全日本川柳誌上大会賞 (予定)

締 切 令和3年2月2日 (火) <当日消印有効>

参加方法 参加用紙に記入し、参加費2,000円 (振替又は小為替) とともに、下記へご送付ください。

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-11-905
一般社団法人 全日本川柳協会
電話 (06) 6352-2210
FAX (06) 6352-2433
振替口座 00970-9-3575

第13回川柳文学賞受賞作品

正賞 『音のない時間』 仁多見千絵

準賞 『平方根』 平井 義雄

第13回川柳文学賞は令和元年に発行された句集のうち、申請のあった15冊を選考委員（雲石隆子・佐藤美文・新家完司・梅崎流青）の4名が選考しました。これまで選考委員の定数は5名（敬称略）でしたが、作家の林えり子氏のご逝去により、急遽4名の選考となりました。

例年、5月の東京開催の理事会後に選考会を開催し、協議しておりましたが、今年は新型コロナウイルスの緊急事態で開催できず、日川協の事務局が選考結果を集計。5月25日、あらためて各委員へ電話確認を行い受賞決定の運びとなりました。

■総評 選考委員長 雲石隆子

今年の川柳文学賞のチャレンジは15冊。一年間の川柳句集の発行数は、それほど差異があるとも思えないがコロナ禍のためなのが少ない申請数である。また、ハブニングは第一回から選考委員に加わっていたに、林えり子氏の急逝もあり、4名の選考になった。毎年、授賞式より前に一堂に会して選考会を開催していたのも出来ず、どうなることかと多少の不安もあったものの、各委員の採点数が明白な結果を示しており、一位推薦2名、二位推薦2名の「音のない時間」仁多見千絵著が、正賞にすんなりと決定。東日本大震災を経験し、未曾有の体験が書かせる作品の説得力。他の句集に比して作品や構成に安定感があり、現代川柳の平均を上回るものとして、選考委員全員の高位推薦である。準賞は「平方根」平井義雄著。一位推薦1名、二位推薦1名、三位推薦2名である。仁多見氏同様に選考委員全員の推薦である。柳歴20年の作者の人間味を堪能できる句集であり、愛おしい日常を忌憚なく吐き出すところに、多くの共感を得る句集である。

この他に星出冬馬氏、三浦ひと氏は、お鶴氏にも推薦があったことを申し添える。

■正賞 「音のない時間」 仁多見 千絵（宮城）

評（一位推薦） 梅崎 流青

「喉に棘刺さったままの慰霊祭」「まだ一人家に帰らぬ人がいる」「国会へお届けします瓦礫です」歳月は何とも残像な一面を持っている。9年前の東日本大震災。被災者にとっては今なお現在進行形の出来事であるが、多くの人にとっては9年前のことである。この句集の読み手はあらためて今なお続く被災者の呻吟と、その場しのぎの政のありよう突きつけられる作品群に居住まいを正すことだろう。

表題にもなっている「哲字のひととき音のない時間」は災害が生き方や思想にまで及んだことを告白。「恋文の行間に置さくら貝」「葉飲むコップに溶かす青い空」などに女性ならではの繊細さを表現。震災の痛みはなお癒えぬが、「負けぬものと一面に花の種」にあるように自然の力に畏敬の念と励ましを頂く。川柳が社会と人間を詠う、との前提に立てば「音のない時間」は作品内容と質の両面で今の時代、推奨、残すべき句集である。

評（二位推薦） 新家 完司

本書の柱になっている第三章「東日本大震災―もろさやささたくまじさ」の内容が情緒に流れ過ぎず、前向きな姿勢を貫いて高く評価できた。「喉に棘刺さったままの慰霊祭」「負けぬものと一面に花の種」「鬼灯を鳴らしひとり」の墓参り」等々、悲しみを詠っているが力強く追ってくる。また、震災から離れた句でも独自性のある作品群が見事であった。

■準賞 「平方根」 平井 義雄（長崎）

評（一位推薦） 佐藤 美文

句集名が「平方根」と難しい感じを受けたが、工業系のがつこうをでられたからであろうか、読んでみるとそこには平凡な川柳家がいた。前半の作品にやや硬い印象の感じを受けたが、だんだん素直に心に染み込んでいく作品が多くなって来た。これも鍛錬のなせた技であろうか。一句挙げるとすれば「軍配は妻の手にあり意無し」である。

評（二位推薦） 雲石 隆子

自らの思想、信条を坦々と描く人生詩である。ときには「引き返せない道ばかり行く愉快」の諧謔的で川柳味たっぷりなのも良しである。厳しさより優しさの光る作品群に癒しをいただき、作者の人間性に感銘する。じつくりと、十七音字でブラッシュアップする、そのような人生が見える。

長きにわたり、ご指導を賜りました林えり子氏のご冥福をお祈りいたします。

仁多見 千絵 氏



■ 主な掲載作品『音のない時間』

バス停にあの娘がいない曇り空
親離れグツバイの声透き通る

すみれ菜の花春の和音のように咲く

帰還困難区域 桜満開

除染土の山を忘れていませんか

哲学のひとつとき音のない時間

人間の歩み絶滅への歩み

薬飲むコップに溶かす青い空

うふふ私の中のブラックホール

何がどうあれ今日は笑おう

強がりのさよなら影が細くなる

わたしを縛るわたくしの正義感



令和元年 10月30日発行
B6判ソフトカバー・118頁
東北川柳連盟 定価1200円

■ 主な掲載作品『平方根』

微力だが無力でないという誇り

薄氷をいっばい踏んできたらしい

義理一つ果たして美味しい酒になる

どうしたら無になれるのか花の下

玉砕という語が父を呼び戻す

未完成そんな自分が面白い

向かい風追い風ともに恩がある

どう生きたどう生きるかと独り酒

一億のそれぞれに一億の母

仏にも鬼にも恩を返さねば

正眼に構える癖が直らない

怒ったら負けだと思いつつ怒る

平井 義雄 氏



平成31年3月10日発行
四六判無線としカバー・168頁
新葉館出版 定価1500円(税別)

令和2年度 第16回 80歳以上の功労者略歴

(敬称略)

宮城県 木田 比呂朗



昭和14年生まれ
平成10年頃より川柳を始める。平成15年川柳宮城野社に入会、平成17年編集同人、平成24年より副主幹就任

全日本川柳協会常任幹事。

「川柳しらこぼと」「川柳彩の会」「若葉川柳会」講師
平成12年全日本川柳東京大会大会賞受賞。平成13年川柳きやり周魚賞受賞

東京都 内田 博柳



昭和11年東京生まれ
昭和58年川柳をはじめ。現在、台東川柳人連盟理事長、川柳公論社顧問。

埼玉県 花道 歌子



昭和7年2月23日生
昭和58年公民館の川柳教室へ入会。
昭和62年川柳きやり吟社誌友、平成5年川柳きやり吟社社人。

台東区教育委員会ラーニングスクエア等多数の講師を務める。「川柳250年イベント」よりはじまり「初代川柳生誕300年イベント」では事務局長など、数々のイベントに参画。
台東区教育功労賞、第3回「川柳三笠賞」受賞、第1回「尾藤川柳賞」受賞

大阪府 西出 楓楽

昭和13年生まれ 柳歴42年



川柳塔社相談役、全日本川柳協会常任幹事、現代詩歌文学館評議員

山陽新聞柳壇選者、朝日新聞「なにわ柳壇」選者、朝日カルチャーセンター「楽しめる川柳」講師
第1回川柳文学賞受賞作品『天秤座』

福岡県 古谷 龍太郎



昭和12年福岡県田川郡生まれ
昭和30年川柳くろがね吟社入会。現在、川柳くろがね吟社主幹、全日本川柳協会常任幹事、日本詩歌文学館評議員、北九州川柳作家連盟会長、福岡県川柳協会顧問。
平成25年北九州市民文化功労賞受賞。
著書に「福岡県川柳史」共同編著、「北九州の川柳」、「九州の川柳句碑」写真集、川柳作家全集「古谷龍太郎」、川柳作家ベストコレクション「古谷龍太郎」新設。

令和2年「龍の庵」新設。

コロナに負けず頑張ろう！

副理事長 江畑 哲男

中止・中止・中止、……。半年前には予想もしていなかった暗雲が、いま日本国中を覆っており、もちろん、わが川柳界も例外ではありません。大きな打撃を受けています。

しかし、皆さん！ 嘆いても事態は改善しません。大変さをお互いに共有しながらも、「道」を探していきたいと思います。試行錯誤を続けていきたいと思います。立場、上知り得た前向き情報を、この場で披露させていただきます。少しでも皆さんのご参考になれば幸いです。

① 考えれば知恵が出る

三密はダメ。句会が開催できなくなつた。そこで、誌上句会へ。多くの吟社がそのように対処しております。パソコンを駆使して、リモート句会。コレが出来れば最高！？ 東京のやまびこ川柳会（永井天晴会

長）では、八月恒例の大会をオンラインで実施し、参加者約五〇名で成功させました（新葉館出版のブログ他参照）。

でも、電子機器類が苦手という方が大半です。そう、いう場合でも、絞れば知恵は出てくるものです。千葉県のある勉強会。会員同士励まし合おうと、往復葉書作戦を実行しました。日本の通信システム、の几帳面さはご承知の通り。大いに活用したいものです。

② 双方向の通信がカギ

五月、ある企業人からこんな話を聞きました。「お客様のステイホームのためか、小誌への読者アンケートの返信数が過去最高となりました。旅に出ることができない分、いつも以上に誌上旅行を楽しんでいただけましたの、かな」と考える次第です。」と。

困難なときほど、双方向の通信が大事だと言います。双方向つて元気が出ますよ。ね。そもそも「座の文芸」たる川柳は、一方通行では生きられません。柳誌で会員の声を拾う、通信機器を利用しての互選を展開するなど、双方向の意思疎通を心がけましょう。

③ 今こそ川柳の出番！

私事で恐縮ですが、「今こそ川柳の出番」と地元マスコミに働きかけました。この間、地方版レベルですが七回ほど川柳が記事になりました。最新刊『今川乱魚のユーモア川柳とまじめ語録』の紹介に始まって、川柳の活動や教育実践に至るまで取り上げてくれたのです（『ぬかる道』HP他参照）。

埼玉県の県立高校の話。こちらもユニークです。通常の文化祭が開催できず、校内芸術祭へ衣替えを考えました。部門を絞って、その一つに川柳のワークショップを設けられ、か、講師派遣の依頼が日川協に寄せられたのです。さつそく地元の高鶴礼子常任幹事が要望に応え、高校現場に出向きました。その感想、「高校生ってなんても可愛いんだらう（笑）」という、ほのぼのとした報告をいただいております。

頑張りましょう！ こういう時だからこそ、「頼りがいのある日川協」をみんなの努力で作ります。いきましよう。「情報と実践を日川協へ」、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

第35回

国民文化祭・みやざき2020

川柳作品募集要項（概要）

日 時／ 令和3年7月11日（日）9時30分開場

場 所／ 宮崎市民プラザ オルブライトホール

〒880-0001 宮崎市橋通西1-1-2 TEL 0985 (24) 1008

交通機関／ 宮崎駅から橋通1丁目バス停まで約9分、徒歩約2分

事前投句

（二句詠・当日消印有効）

令和2年5月1日～令和3年3月31日（水）

「メダル」… 浪越 靖政（北海道）

「牛」… 熊谷 岳朗（岩手）

「高千穂」… 西岡 南風（宮崎）

「趣味」… 伊達 郁夫（大阪）

第二次選者

本田 智彦（大阪）

平田 朝子（熊本）

坂下 清（富山）

福本 清美（徳島）

古谷龍太郎（福岡）

当日投句

（11時30分締切）

「遊ぶ」… 金子美知子（神奈川）

「忘れる」… 森中恵美子（大阪）

「神話」… 黒川 孤遊（熊本）

問い合わせ先・投句先

〒530-0041

大阪市北区天神橋2丁目北

1-11-905

一般社団法人全日本川柳協会

TEL (06) 6352 - 2210

FAX (06) 6352 - 2433

応募料

事前投句1,000円、当日投句1,000円

（ただし、海外投稿者、身体障害者手帳等の写しを添付された方は無料）

応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入し、（郵便）振替払込請求書兼受領証又はその写しを添えて応募してください。

主 催

文化庁 厚生労働省 宮崎県 宮崎県教育委員会 宮崎市 宮崎市教育委員会

第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会

第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭宮崎市実行委員会

一般社団法人全日本川柳協会 宮崎県現代川柳協会

※ 「川柳の祭典」はコロナ感染拡大防止のため延期いたしました。
日付にご注意ください。また、交流会は中止となりました。

頁	柳社名	箇所	追加・訂正・変更内容
18	土浦芽柳会	代表	堤 丁玄坊 〒300-0848 茨城県土浦市西根西 1-11-12 TEL&FAX 029-843-3569
19	下野川柳会	代表	刑部 仙太 〒321-0942 栃木県宇都宮市峰 2-13-12 TEL&FAX 028-633-1079
22	東京みなと番傘川柳会	代表	青木 薫 〒350-0241 埼玉県坂戸市鶴舞 4-21-27 TEL 049-283-7928
		事務所	河野なかば 〒359-1106 埼玉県所沢市東狭山ケ丘 2-2981-9 TEL 04-2923-8206
24	柳都にいがた川柳会	代表	細井吉之輔 〒950-0086 新潟県新潟市中央区花園 1-1-8-307 TEL 025-248-6300
25	富山県川柳協会	事務所	山下 功 〒939-2729 富山県富山市婦中町響の杜 297-28 TEL 076-461-3538
26	平和川柳研究会	新入会	岩原 茂明 〒920-0027 石川県金沢市駅西新町 3-17-2 TEL 076-223-4466
29	川柳天平の会	代表	鈴木 かこ 〒547-0022 大阪市平野区瓜破東 2-1-16-405 TEL 080-3834-5089
30	大阪川柳の会	代表	本田 智彦 〒532-0025 大阪市淀川区新北野 1-3-4-1307 TEL&FAX 06-6303-7297
33	兵庫県川柳協会	住所	〒650-0011 神戸市中央区下山手通 6-2-19 甲陽会館内 TEL&FAX 078-360-9005
	ふあうすと川柳社	住所	〒650-0011 神戸市中央区下山手通 6-2-19 甲陽会館内 TEL&FAX 078-360-9005
33	鳥取川柳連盟	新入会	鈴木 公弘 〒689-0343 鳥取県鳥取市気高町飯里 84-4 TEL&FAX 0857-84-2886
		事務所	安場 紫音 〒680-0902 鳥取県鳥取市秋里 962-6 TEL&FAX 0857-24-1468
35	広島みらい川柳会	新入会	瀬戸れい子 〒731-0124 広島県広島市安佐南区大町東 1-10-20-1007 TEL&FAX 082-876-2203
39	大分県番傘川柳連合会	代表	小代千代子 〒874-0937 大分県別府市秋葉町 7-24-1403 TEL&FAX 0977-22-7033
40	那覇川柳の会	電話番号	TEL 090-5489-3719
41	大石一粋	所属	川柳すずむし吟社 → 川柳グループ柳山泊
42	太田紀伊子	所属	つくね番傘川柳会 → 龍ヶ崎川柳会
44	柳天心	新入会	〒302-0102 茨城県守谷市松前台 1-4-1 キアレツア 203 TEL 0297-48-5858

水害に遭われた皆様に謹んでお見舞い申し上げます

編集後記

★夏のマスクは厳しく苦しいです。川柳も3蜜で友人とも会えず、いつ句会が始まるか見通しがつかず悶悶とした日を過しているこの頃です。

★理事長の挨拶にもありますように川柳大会が開けず、事業計画も予定通りに進行していません。特に秋田大会は再度変更で準備していた現地の人達も落胆と悔しさで過ごしておられると思います。

★長引くコロナショックは川柳人としても早く以前のような姿で句会が開かれることを望んでおられると思います。

★新型コロナウイルス対策として今、あの手この手で関係者が世界も含めその対策に努力しているようです。今しばらく我慢しましょう。

★いずれ皆さんの元の元気な姿で会えるのを楽しみにしています。

(事務局長 本田智彦)

お知らせ

第45回全日本川柳富山大会は
令和4年6月12日(日)に
延期いたしました。